

# 高石市次世代育成支援行動計画（後期）に関するパブリックコメントの結果

ご意見	市の考え方
<p>将来人口推計は右肩下がりだが、市として人口流入の措置が必要ではないでしょうか。特に子育て世代が住み良いとなつてこそ、この行動計画に意味が生まれると思います。</p>	<p>本市では第4次高石市総合計画を策定中であり、本市の将来人口につきましても検討中です。現在、人口は、減少傾向ですが、連続立体交差の完成を見据え都市計画の見直しを行い、住環境の整備を進める一方で子育て支援や教育環境の充実を進めるなど、人口減少の対応を盛り込んでいく予定です。</p>
<p>重要な内容ほど、事前に広報などを使って告知し、十分な時間をかけて議論し、小規模自治体の利を生かして、市民の声に密着した市政を行うべきではないでしょうか。 市政に興味のある市民を対象としたメーリングリストなどというのも一つの案であると思います。</p>	<p>市政に関する情報発信は、基本的に毎月発行の広報紙「広報たかいし」及びホームページにて実施しております。 また、今回のようにパブリックコメントを実施したり、市役所等で「市民の声」提案箱を設置し、市民の皆様から市政に関する建設的なご提案・ご意見を頂戴し、市政運営の参考にさせていただき制度を実施しております。頂きましたご意見も参考に、今後も、広く市民に、市政に対する理解と協力を頂けるよう、充実した情報発信に取り組んで参ります。</p>
<p>学童保育は希望すれば6年生まで通えるようにしてください。 また、土曜日と春夏冬休みはせめて学校の登校時間の8時から開始してください。</p>	<p>学童保育（放課後児童クラブ）については、児童福祉法において放課後児童健全育成事業として、小学校に就学しているおおむね10歳未満で、その保護者が労働等により昼間家庭にいない児童を対象としており、厚生労働省のガイドラインにおいても、小学校1～3年を対象とするとされております。本市においても当初より国基準に基づき実施しており、その間も、受け入れ児童の増加のため1学校複数クラス化、開所時間の延長、開所日の大幅な拡大、各教室へのクーラーの整備など、積極的な受け入れの推進と児童の安全に配慮した事業の運営を進めてまいりました。 本事業の対象学年枠の拡大、開所日の拡大とのご意見ですが、現在も年々入会希望者が増えており、さらに複数クラス化を検討する必要性も生じております。また平成22年4月より全小学校で土曜日等に開催する放課後子ども教室推進事業（こども元気広場）の実施を進めるなど、放課後児童に対する取り組みを今後とも進めてまいります。</p>
<p>学校等における食育の推進、食育を語るのになぜ、数年前に一部の小学校給食を民間委託にしたのでしょうか。 保護者から反対の意見が殺到していたのに、給食こそ食育を考えればとてもいいものになるのに。疑問ばかり感じてしまう内容なのがとても残念に思います。</p>	<p>現在市内7小学校のうち3小学校において、給食調理業務の委託を実施いたしておりますが、安全面や衛生管理面でも直営校と同等の給食の質が確保できております。 食育や給食指導については、直営校も調理業務委託校どちらも担任教諭、栄養教諭（栄養職員）が授業や給食の時間に取り組んでおります。 また、子どもたちの学力や体力を養う基礎として、食育を推進しており、平成21年度から取り組んでいる「高石っ子元気っ子プラン」に基づき、「高石市3つの朝運動」等、学校現場だけでなく地域の皆様とも協力しながら、進めてまいります。</p>
<p>乳児医療の助成を就学前までに伸ばしてください。</p>	<p>財政健全化を進める中でも、特に乳幼児医療助成につきましては、平成16年度のそれまでの0歳から3歳までだったのを1歳引き上げ0歳から4歳までに拡充し取り組みを進めてまいりました。 この乳幼児医療費助成の年齢引き上げは、少子化対策にとっても重要な課題であると考えておりますので、今後検討を進めていきたいと考えております。</p>
<p>以前 市に住んでいて、その時は自分の子どもの様子がおかしくて、子育て支援センターに行っても、まともに聞いて貰えず「そのうちなんとかなる」程度でろくに話を聞いて貰えず不満を抱えながら、高石市に引っ越して来ました。しばらくして保健センターの方から、子どもの様子を聞かせてください。と言って下さったので、いろいろ聞いてくださって、親身になって話が出来ました。 噂では「高石市は市民に優しい。」とお聞きしましたが、最近良くない事ばかり聞く事が多くて不安です。福祉の面で障害者、子ども達、お年よりの方がたくさんいるのにまるで弱者の行き場をなくして風に見受けられません。 希望を背負って将来しよって立つ子ども達が困らない様にしてください。それからもっと市民の声に耳を傾けて欲しいです。</p>	<p>本市としましては子育てに関するご相談は、子育て支援課をはじめ、保健福祉部各担当課、各施設において、ご相談、ご説明をさせていただいており、今後ともご利用いただければと考えております。 なお、総合保健センターでは乳幼児健診に来所された方や未受診の方、転入された方にお子さんの状況をお聞きし、その中でお子さんにあった子育て支援情報をお伝えし、必要に応じ各相談をご案内しております。 今後とも市民の皆様のご意見を聴きながら、より一層福祉施策の充実に取り組んでまいります。</p>
<p>ファミリーサポートの料金は継続して利用するには高すぎます。 例えば半額は市が負担するなどの措置をとって下さい。</p>	<p>ファミリーサポートの料金は委託先の高石市社会福祉協議会と協議して、受益者負担の観点から、他市の料金も勘案しながら、適正な料金をお願いしております。 なお、本市としては、このファミリーサポート事業を支援するため、市としても国庫補助を活用しながら同事業費の25%にあたる毎年約400万円の補助金を委託先の同法人に支援しております。</p>

# 高石市次世代育成支援行動計画（後期）に関するパブリックコメントの結果

ご意見	市の考え方
<p>市内保育所3園で第三者評価を実施となっているが、公表は“いつ”、“どのように”行うのか。</p>	<p>民間保育園の第三者評価については、各民間保育園及び福祉サービス第三者評価システム推進支援会議・大阪でも公表していますのでそれぞれお問い合わせください。 (インターネットアドレス <a href="http://www.humind.or.jp/hyoka/hyouka_jidou.html">http://www.humind.or.jp/hyoka/hyouka_jidou.html</a>)</p>
<p>平成21年の待機児童数は29人となっているが現在もそのままなのか。</p>	<p>現在、低年齢児を中心に、年度の途中から待機児童が発生し、年度末が最も多くなっています。(なお、新年度当初にはその多くが入所されています。)</p>
<p>「待機児童数は定員増加で減少」となっているが、今後、定員の増加はどこまで行うのか。また、国の保育基準が緩和された場合に高石市は現在の保育基準を維持できるのか。</p>	<p>これまでの待機児童数は、平成21年度末29人、20年度末46人、19年度末37人、18年度末47人という推移となっております。</p>
<p>取石保育所・取石幼稚園を廃止し認定こども園にする理由の一つに「将来の待機児童にそなえる」と聞いているが、957人と見ているのであれば待機児童増は見込まれないのではないかと。</p>	<p>さらに、不況等の影響からも潜在的なニーズとして、就労希望等も多く見受けられます。今後、就労等の入所要件の緩和等が行われた場合は、より一層入所対象児童が増える可能性も予測されます。</p>
<p>平成26年度の通常保育事業957人としている根拠は。</p>	<p>そのため、現在弾力化により民間保育園を中心に定員増をはかっており、さらに今後認定こども園の整備に伴い、さらなる定員増もはかりながら、待機児童の解消を目指してまいります。</p>
<p>子育て支援センターの1ヶ所増設の地域はどう考えているのか。</p>	<p>児童数の推移を試算し、ニーズ調査による現在のニーズ量及び潜在ニーズ量を加味して積算しています。</p>
<p>病児保育をすぐにでも始めてください。</p>	<p>現在、千代田(南海愛児園)、綾園(綾園保育所)地区にあるので、高石北部の羽衣、東羽衣地区で検討しています。</p>
<p>保育所・幼稚園の耐震工事を進めてください。私たちは子どもの命を預けています。市は命を守る責任があるはずで。</p>	<p>病児・病後児保育については、体調不良児(保育中の病児児童等)は、市内全保育所で実施することにしております。</p>
<p>保育施設の改善等の項目に今後の耐震改修の計画を進めていくとありますが、ではなぜH22年度の一般会計予算に保育所の耐震二次診断の予算が組まれていないのでしょうか。子どもの安全を考えれば一刻も早く行うべきです。そんな基本的な事が後回しの現状で本当に子育て支援ができるのでしょうか。</p>	<p>また、病児対応型、病後児対応型については、医療機関等と連携を図って、1ヶ所の実施を後期計画についても目標としております。</p>
<p>取石地区から、公立の乳幼児施設をなくさないで下さい。せめて、同じ法人が経営する保育所、子ども園でなく、保護者が保育の方針を選択できるようにして下さい。</p>	<p>本市における公共施設の耐震化については、平成20年3月に「高石市耐震改修促進計画」を策定しました。この中で災害時の避難場所としての観点や国の支援策が強化されたこと等により、小中学校の耐震化は今年度中に終了する予定となっております。</p>
<p>取石地区に公立の保育所を作ってください。</p>	<p>すでに耐震(1次)診断済みの保育所、幼稚園等については、まず、耐震数値が低かった取石幼稚園・取石保育所を建て替えによる認定こども園への移行を今年度を実施しますが、他の施設については、老人福祉センター等他の公共施設の1次診断結果を受け、優先順位を検討しながら「高石市耐震改修促進計画」の期限である平成27年度に向け、耐震化を計画的に進めてまいります。</p>
<p>認定こども園については、運営に関して市の関与が継続しますので、保育について基本となる保育運営に変わりはありません。</p>	<p>新しい認定こども園でも公立と変わらない保育を実施しますので引き続きご利用いただければと存じます。</p>
<p>なお、公立保育所での受け入れを希望する方は、他の保育所を選択していただくことも可能です。</p>	<p>また、取石幼稚園区の方で公立幼稚園を希望する方は、加茂幼稚園での受け入れをいたします。</p>

# 高石市次世代育成支援行動計画（後期）に関するパブリックコメントの結果

ご意見	市の考え方
<p>待機児童対策などで乳児保育の充実を挙げている割に、認定こども園を保護者の反対を押し切り設立など、言っている事と逆の事となりうる事をしているのには疑問を感じる。</p> <p>認定こども園はメリットとしては待機児童解消につながる事がよくあげられるが、高石市の場合は公立幼稚園、保育所を廃止しての設立と言う稀なものです。</p> <p>保護者が就労していなくても入れるという背景で、本当に保育所を必要としている切実な人が入れなくなるというデメリットは素人でもわかる事なのにそれを無視したのは大いに疑問を感じる。</p>	<p>認定こども園は、保護者の就労に関わらず、幼児教育と保育の両方を提供し、就学前の児童に対する総合的な子育て支援の拠点施設です。</p> <p>そのため、就労していなくても利用できる幼稚園機能と、就労等保育に欠ける児童が利用できる保育所機能の2つの機能を有することになります。</p> <p>また、保育を希望する方が入所できなくなることはないよう、待機児童の解消とあわせて、定員数の増加や弾力的運営もさらに検討してまいります。</p>
<p>認定子ども園の普及に努めるという内容と、公立保育所の老朽化に伴う設備の改修に関する記載が支援計画の中に記載されていました。これについては、保育施設のさらなる充実を意味するのでしょうか。</p> <p>最近、公立保育所を廃止し、認定こども園にする旨の話を目にしました。“公立でなくては十分な保育はできない”とは思っていませんが、官から民へと業務移行を行うような結果になるのであれば、利用者である、市民のニーズを十分に収集したうえで、検討をしっかりと行い、実際の事業運営がなされる前に市主導で、それまでに公立保育所で行われていたサービスよりもより向上したものになるよう交渉等を行うべきで、決して、後退は市民感情として許されるものではないと思います。</p> <p>もしかすると、既に上記のプロセスを十分に経て、計画を遂行中なのかもしれません。しかし、まったく子どもの耳には物事のdetailが伝わってきません。</p>	<p>本計画における認定こども園の普及促進や保育施設、設備の改善等の項目については、認定こども園は就学前児童の保育・教育を行うということや保育施設の整備、改善が保育サービスの一環であるということから、「(1) 地域における子育て支援 保育サービス等の充実」に分類させていただいております。</p> <p>なお、平成23年度に取石幼稚園・取石保育所を民営化により認定こども園として新たに開設しますが、選考委員会で、運営法人の募集段階から、学識者、保護者、関係機関の代表者等の要望意見を取り入れ、これまでの公立幼稚園や保育所の良さも十分引き継いだうえ、延長保育や預かり保育、新たなニーズへの対応や待機児童の解消につながるよう、保育・幼児教育の質がより向上するよう、運営条件をまとめ、条件を満たす運営法人を選考し、しっかりと実施していただけるよう運営条件に基づいた協定を結んでおります。</p> <p>今後も安心して子育てをしていただけますよう、子育て支援・幼児教育の充実をはかってまいります。</p>
<p>地域協議会委員に関しては平等な選任かと思えました。</p> <p>これと同じように、高石市市立取石幼稚園・取石保育所の認定こども園への移行に係る事業者選考委員会委員も色んな分野から選任するべきだったのではないかと思います。</p> <p>これだけの計画を数年単位とするのだとしたら、認定こども園も数カ月と言う異例すぎるスピードで決めるのではなく、年単位の時間をかけてすべき問題だったと思えます。</p>	<p>認定こども園の事業者選考委員会は、学識者、保護者、関係機関の代表者等にご参加いただき、委員による闊達な議論と、地域の子育て支援という視点で、現地調査を始め、面接調査等のうえ、一定傍聴もしていただきながら限られた時間の中で厳正かつ公正に選考を行っていただいたと考えております。</p>
<p>現在進められている認定こども園に関する事は、たった2行の文面でしか記されていませんでしたが、市民が納得できるような説明はなされていないままです。</p> <p>「保育園の待機児童を減らすため」「幼稚園の園児数減少を防ぐため」だけに両者が一緒になったのでは、子どものためには全くなりません。</p> <p>取石地区においては、公的な保育施設が全く無くなってしまい、地区での公の責任を放棄した市の責任は重大だと思えます。</p> <p>市民にしっかりと納得できるような説明のプロセスをふんでいればまだしも、市民への説明がいつも後まわしになり、本当に地域全体で支援していこうと思っているのか疑問です。</p>	<p>認定こども園についても、これまで保護者等への説明会やホームページ等による情報公開、議会での説明などにより、市としては出来る限りの説明を行ったと認識しております。</p> <p>平成23年度に公立の取石幼稚園と取石保育所が民間の認定こども園として新たに開設しますが、延長保育や預かり保育、待機児童の解消、自園給食の実施等、子育て支援・幼児教育の充実に向けた取り組みは、取石地区をはじめ高石の子どもたちにとって必要なものと考えています。</p> <p>また、運営条件についても、運営法人の募集段階から保護者等の要望意見を取り入れ進めてまいりました。</p> <p>もちろん民営化後も市・保護者・運営法人との協議の場を設けるなど、市としても引き続き公的責任を果たしてまいります。ご理解の程よろしく申し上げます。</p>

# 高石市次世代育成支援行動計画（後期）に関するパブリックコメントの結果

ご意見	市の考え方
<p>障害児（発達障害児）に対する早期療育の重要性ですが、まったくそのとおりであり、最近の研究においても、4歳までの早期療育によって（薬物療法や特殊トレーニングを含む）、社会適合性を含めた広範囲での成長が認められたと報告されています。</p> <p>また、自閉症スペクトラムと診断される児の割合は、10年前と比較して1.5 - 2倍に増加（海外での報告）しており、このことは診断能力が向上しただけでは説明がつかず、何らかの因子によって、発達障害児の頻度が増えているようです。したがって、グレーゾーン児は同様に高石市においても今後増加するかもしれません。</p> <p>その意味では、高石市は公立の療育施設を早くから開設し、先駆的な対応をしてきたと言えるでしょう。</p> <p>しかし、先にも述べたとおり、子どもの成長を長期的なものにとらえた場合、連続性が重要で、就学前から社会へと出るまでの間、各保育・教育機関は障害児もそうでない児もある程度の幅を持って対応できるゆとりが必要ですし、支援計画にも記載されていた通り、相互の交流によって子どもたちも互いに発達していくのだと思います。</p> <p>ぜひ、計画の中の“努力目標”に終わることなく、早期療育の実践と長期的な連続性を持った教育をお願いいたします。</p>	<p>本市において、昭和50年に発達障がい児に対する専門施設として松の実園を開設し、以来市内の幼稚園、保育所、市内外の医療福祉施設とも連携し、発達障がい児の受け入れと幼児期の発達支援に取り組んでまいりました。</p> <p>この間、松の実園と各施設の連携のみならず小中学校就学に至ってもノーマライゼーションの観点から、教育委員会において出来る限り希望に添った受け入れを行うべく、市としても人的配置等のソフト面、バリアフリー化等のハード面での支援を行ってまいりました。</p> <p>しかし、昨今配慮を要する児童はご指摘のとおり増加傾向にあり、最近では校舎の耐震改修とあわせて特別支援教室を再整備し充実させるなど、さらに取り組みを進めているところですが、ご指摘の早期療育の実践と長期的な連続性を持った教育の実践にも引き続き取り組んでいますので、ご理解の程よろしくお願いたします。</p>
<p>認定こども園を計画される中、松の実園保護者から説明会を開いてほしいと申し出なければ、それすら無しに押し進められた訳で、障害児保育をやむやみにしようとしていたとしか取れません。発達につまづきを持った子どもたちは、より良い環境の中で少しずつ成長できるのです。障害を取り除くことは出来ませんが、少しでも成長してほしい、成長させてあげたい。これなら健常児たちと何とかやっていけるかな。・・・という切なる願いを汲み取って下さいまして、認定こども園を導入して頂きますよう、よろしく願い申し上げます。</p>	<p>認定こども園への移行に関しては、当該取石幼稚園・取石保育所の保護者に対し、説明会を開催するなどご理解をいただけるよう取り組んできました。</p> <p>認定こども園に移行しましても、市内の公立民間幼稚園、保育所と変わらず松の実園と連携してまいります。</p> <p>なお、個々のご質問ご相談等ございましたら、子育て支援課で対応させていただきます。</p>
<p>障がい児施策の充実ですが、関係機関が連携をとり、障害の早期発見を図ってきたとなっていますが、個人的なことですが、私は早くから保健センターに相談に伺っていたのに適切な医療機関等のご紹介をしていただけませんでした。</p> <p>相談を実施するだけでなく、そういう相談にみあう職員の育成にも力を入れて頂きたいです。</p>	<p>障がい児の相談につきましては、総合保健センターでの乳幼児の各種健診の際や子育て支援課での発達相談を随時行うなど、早期発見と関係機関の紹介等に努めてまいりました。</p> <p>今度も引き続き相談事業の資質向上に努めてまいります。</p>

# 高石市次世代育成支援行動計画（後期）に関するパブリックコメントの結果

ご意見	市の考え方
<p>障害児が健常児と同様に健やかな成長が出来、地域の中で共生し、安心して暮らせる高石市にして下さい。今回の認定こども園については、特に障害児を全く無視した中で計画されたものです。</p> <p>これまで公立保育所が障害児保育を担っていましたが、認定こども園が出来ることにより障害児が健やかに成長しながら地域に戻る受け皿がまた1つ無くなると考えられます。</p> <p>市が公立園を減らした責任は重大です。今後の対応として障害児保育を民間園にも確実に行ってもらうようお願いいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 松の実園での障害児保育の研修を適宜行い、最低限度として担当職員には療育に必要な力を確実につけて頂く。その研修期間に必要な費用は市が負担すること。</li> <li>2 障害児童数に応じた職員を加配する。これに必要な経費は市が負担すること。</li> <li>3 必要に足る巡回相談を確実に出来るように、発達相談員として正職員を雇うこと。</li> <li>4 他にこれまで公立園で行われていた障害児に対する保育、制度については民間園に引き継ぐこと。</li> </ol> <p>これらの実施にあたり出費を伴いますが、市は民間委託をした責任として行う義務があると考えます。責任がとれないのであれば、今回の認定こども園の設立は中止すべきです。</p> <p>好んで障害を持つ人間は1人もいません。障害と判断されずともグレーゾーンの子どもが増える現代において、市の施政は間逆に突き進んでいます。それを否定するのなら、先の記述については確実に行って下さい。</p> <p>重複しますが民間委託を否定する事が目的ではなく、障害児も健やかに成長し、地域の中で生きられる基盤を作って頂く事が目的です。</p> <p>認定こども園続行するのなら、今はその土台作りの大切な時間であることを認識して障害児も生きやすい高石市にして下さい。</p>	<p>平成23年度に公立の幼稚園と保育所が民間の認定こども園として新たに開設しますが、運営条件について、運営法人の募集段階から保護者等の要望意見を取り入れ、保育・幼児教育の質がより向上するよう運営法人と協定を結んで公立民間という枠組みでなく、市としても公的責任を果たしてまいります。</p> <p>また、認定こども園においても、障がい児が健やかに育てられるよう、保護者との連携を密にし、個別の支援を行いながら、集団の中で生活することを通して全体的な発達を促していくことに配慮して指導する総合保育を実施する予定です。</p> <p>なお、項目1から4等の障がい児に関する個別のご要望については、子育て支援課へのご意見ご要望として承り、今後検討してまいります。</p>
<p>認定こども園について、高石市内の公立保育所が次々と民営化され、平成23年度には取石保育所、幼稚園が民営化し、認定こども園を導入されるとのこと。</p> <p>私は障害児の保護者ですが、公立の時と同様に運営していただけるのかどうかすごく不安です。認定こども園においても障害児保育を適切に運営して頂けるのでしょうか。</p> <p>毎年、市に対して、大阪知的障害者育成会高石支部より要望書を提出させて頂いておりますが、高石保育所が民営化される際、「松の実園の園児が保育所に入所する際には、支障が出ないように配慮してまいる所存です」と市長よりご回答頂いております。しかし、現に民間園の保育は、障害児にとってペースが早く厳しいようです。それなら、保育士を加配するべきではないでしょうか。松の実園で障害児たちが成長出来るのは保育士数が十分で障害児たちがのびのびと保育所生活を送れるからなのです。</p> <p>また、保育所側から巡回相談を要請したにも関わらず、今年度は全く行われていないとのこと。障害児やその保護者をないがしろにしているとしか思えません。民間事業者に引き渡す前に、障害児保育について体制をもっとつめるべきです。そして、引き渡した後も保育実態を巡回・調査してください。そこまでが、民営化を推し進めた市側の責任だと思われます。</p>	<p>障がい児保育については、過去より民営化した保育所においても、委託先法人に対して、移管後もそれまでの公立保育所と変わらず引き続き運営条件に従い実施して頂いております。</p> <p>認定こども園に移行した民営化後も、市・保護者・運営法人との協議の場を設けるなど、市としても引き続き公的責任を果たしてまいります。</p>

# 高石市次世代育成支援行動計画（後期）に関するパブリックコメントの結果

ご意見	市の考え方
<p>松の実園を障がい児療育の中心的施設として充実に努めることは、是非行ってほしいことですが、現実には受け入れ人数も30人と少なく、サービスを受け入れる数はごくわずかです。</p> <p>今後市内の障がい児療育の中心的な施設となるよう、市としてどのような施策を行っていくのか具体的に打ち出し示してください。</p>	<p>松の実園について、現在通園受け入れの定員は30名となっております。その他バンビグループでの母子通園事業を実施しております。</p> <p>なお、発達状況により他の療育施設との連携をはかりながら支援に取り組んでいます。</p> <p>今後とも、松の実園を、障がいの重度・重複・多様化の傾向に対応した相談や訓練、療育を行う障がい児療育の中心的施設として、他の医療福祉施設等とより一層連携しながら発達障がい児の支援に取り組んでまいります。</p>
<p>障害児保育に関しても 支援施設の充実 とあるが障害児保育の受け皿である公立保育所を次々と民営化している。これからは民間の保育所にも障害児保育を・・・などと言っているが本来ならば、民間保育所での障害児保育を確立してから民営化すべきだったのではないのでしょうか。先に民営化してしまっているということは、経費削減、『お金』のために民営化したとしか思えない。</p> <p>松の実園を中心的施設にしていくとあるが、耐震基準は上回っているとは言え、築35年たっており老朽化は進んでいる施設で保育室も不足している状態が何年も続いているのは市も知っているはず。</p> <p>乳幼児健康診査状況では4ヶ月児2割、1歳7ヶ月児3割、3歳6ヶ月児においても1割の乳幼児が要経過観察とされていることから、近年の発達障害児の増加が分かる。</p> <p>また言語療法士や作業療法士など専門の正職員がいないのになぜ中心的施設に。それならば専門の職員を配置するのが当然ではないのでしょうか。</p>	<p>障がい児保育については、移管後の認定こども園においては、障がい児を受け入れ、集団の中で生活することを通して全体的な発達を促していくことに配慮して指導する総合保育を実施する予定であります。</p> <p>本計画の中で、障がい児保育の進め方については、公立民間という表現は取り除いており、全ての保育所で実施することを目標としています。</p> <p>ご承知のとおり松の実園は耐震診断の基準値を上回っているものの老朽化対策や必要な改修については順次取り組んでまいります。</p> <p>乳幼児健康診査での経過観察については、今後とも適切に対応してまいります。</p> <p>なお、言語療法士や作業療法士については非常勤の専門職員が引き続き対応してまいります。</p>
<p>タイムケア事業について、現在、障害児の学童保育としてタイムケアを実施されていますが、未就学の障害児（松の実園児）についても預かって頂けるよう事業拡大を希望します。</p> <p>通園時間以外の仕事、兄弟たちの学校行事、お悔み事、保護者自身の通院など、松の実園児を連れて行きにくい場所があります。自分の子とはいえ、場所見知りや人見知り、予定外の行動にパニックを起こすことがあるからです。静粛な場で起きてしまうと、居ても立っても居られず、体力的、精神的疲れ果て、周りの方にも奇声や大鳴き声で迷惑をかける事になるのです。</p> <p>また、就学児の受け入れ人数の枠を増やしていただきたい。年々、障害児が増えてきている中、受け入れ数と同じでは利用できない事があり、この事業があってないようなもの。どうか、就学児・未就学児の受け入れ体制を拡大して下さい。</p>	<p>タイムケア事業については、財政健全化を進める中ではありますが、特に義務教育に就学する障がい児のニーズに対応すべく平成19年度から本市独自の取り組みとしてスタートしました。</p> <p>現在、施設の改修を検討しており、さらにスペースの確保など充実に図ってまいりたいと考えております。</p> <p>なお、ご指摘の未就学児の受け入れ拡充については、今後の検討課題とさせていただきます。</p>

# 高石市次世代育成支援行動計画（後期）に関するパブリックコメントの結果

ご意見	市の考え方
<p>今回のパブリックコメントは、どの程度この計画に反映されるのか。</p>	<p>寄せられたご意見は、市の考え方とあわせてホームページ等で公表するとともに、毎年度の後期計画進捗状況の検証と併せて、今後の見直しの中で検討してまいります。</p>
<p>寄せられた意見につきましては全て回答を行い、ホームページ上に掲示してください。 公序良俗に反する意見を除いて、当然、そうすべきと考えます。また、それらを早急に計画に生かす（協議会で検討することも含めて）ようにしてください。</p>	
<p>パブリックコメントの計画への反映方法について市民に具体的に提示してください。「広く意見を募集します」では意見を寄せた市民に失礼です。 意見を踏まえ、年度途中で計画を見直すのか、来年度に見直すのか……。そもそも、時期がずれ後期計画のスタート時にパブリックコメントを反映できないのは行政の責任です。ホームページ上に見解を出すだけでなく、意見を今後どのように反映するかを提示する必要があります。年度初めには間に合いませんでしたが、市民の意見に耳を傾けるなら 22 年度の早い段階での見直しが必要かと思えます。</p>	
<p>募集期間が他市と比べ短すぎるのではないかと</p>	<p>パブリックコメントの日程が結果として短期間となりましたことについては誠に恐縮に存じます。しかしながらこの間、多数のご意見をいただき、またそれに対してできる限り具体的に、市の考え方をご回答させていただきました。 なお、今後は同様のご意見をいただく際には広報紙への掲載も含めて実施期間にも十分留意させていただきます。</p>
<p>せっかくのパブリックコメントの募集ですが、広報に記載するなど、もっと広く告知を行った上で、せめて1ヶ月程度の募集期間を設けるべきではないでしょうか。 わずか1週間の募集期間では、支援計画を熟読し、意見をまとめ、文章化するプロセスには短すぎるといわざるをえませんし、高石市として、本当に市民の意見を募集したいのか。とも思えます。 重要な支援計画ですので、今後同様のコメント募集時には十分な募集期間をお願いしたいと思えました。</p>	
<p>高石市のHPにパブリックコメントに関しての公募が掲載されたのが、3月24日なのに、締め切りは同月30日。この時期は子育て世代の多くは春休みに入っていて、この公募自体の情報を得るのが難しいと思う。広報などで公募をしっかりとした形にするべきだったのではないのでしょうか。この時点で、市民を軽視しているとも思える行動だと思いました。 子育て支援は関心を持って拝見したが、書いてあることはとても立派で素晴らしいと思いました。ですが、子育てをしている親としては疑問に感じるが多すぎ、驚いたというのが本音です。</p>	

# 高石市次世代育成支援行動計画（後期）に関するパブリックコメントの結果

ご意見	市の考え方
<p>高石市の次世代育成支援行動計画（後期）を拝見いたしました。 全国的に今後も高齢化が進むことが必至の現状で、次世代を担う子どもたちの健全な成長をサポートすることは当然重要ですし、さか登って考えれば、私も含めた、子どもを持つ家庭あるいはこれから高石市で子どもを育てるであろう世代の市民にとって、高石市が、子育てを行いやすいた、市民の声がより反映される自治体であることは重要であると思えます。 規模の大きな自治体ですと、なかなか市民の様々な声に対しての、的確な対応というものは難しいようです。 ぜひ、高石市には小規模自治体の良さを出していただきたいと思っています。</p>	<p>次世代育成支援行動計画は、すべての子どもが人権を尊重され、伸びやかに育つことのできるまちづくり、家庭で安心して子育てができるまちづくり、子育てと社会活動を両立できるまちづくり、健やかな子育てを地域で支えるまちづくりを目標として、各種の子育て支援施策を掲げており、実現までの間に市民の皆様、特に子育て世帯の意見を広く取り入れながら、その実現と実行を目指して参ります。 そのため計画については、毎年進捗状況の検証と見直しを行いながら、その都度結果を広報やホームページ等で公表し、意見募集も行っております。 この度の後期計画策定にあたって、前期計画の検証やニーズ調査を実施し公表しながら、小規模自治体の良さを活かしてこのパブリックコメントも含め、市民のご意見を参考にしながら、必要な見直しを行い策定したものです。 この計画の実行に当たっては、いただきましたご意見を真摯に受け止め、今後も安心して子育てをしていただけますよう、子育て支援・幼児教育の充実をはかってまいります。</p>
<p>計画の素案拝見しました。内容はすべて良い事が書かれてあり、正直実際との違いがありすぎるように感じました。 枠組みを作っていく事は、第一歩として必要な事ですので、今後中身の充実を市民として求めます。</p>	
<p>全般的に、支援計画そのものは非常によくできていると思っております。</p>	
<p>計画を立てるにとどまらず、高石市において全て実施可能なのか。</p>	
<p>今年度は「見直し」となっているが前期計画の検証は行ったのか。 また、行ったのであればその結果の公表はされるのか。</p>	
<p>うわべの言葉だけでなく、本当に子どもの事を考えたらおのずと出てくる答えを見ないで、市の都合だけで考えた政策は無意味。 近年の市政は障害者福祉を切り捨てるのが目立っていたと思えますが、今度は子どもを切り捨てなのでしょうか。弱者切り捨て、いや、「次世代切り捨て」にならないよう切に願います。</p>	
<p>当初昨年7～12月にかけて会議を行い、後期計画を詰めていく予定が、半年間も放置し、2月から詰めて会議を行い、その為、前期の実績についての検証も全く行われなまま、今回の素案が完成したとききました。 他市では1月頃にパブリックコメントを市民に求め、それを素案に反映してから新年度から後期計画を実行していくそうですが、4月1日から後期計画はスタートするというのに、高石市の場合は年度末のギリギリにパブリックコメントを募集し、どのように計画に反映していくおつもりなのでしょうか。 市民の声を反映させようとせず、このように何事も見切り発車的なやり方で物事をすすめようとする市政では、安心して子育てはできません。 市民の声を真剣に受け止めて、今後の市政、子育て支援事業を行って頂きたいです。</p>	

# 高石市次世代育成支援行動計画（後期）に関するパブリックコメントの結果

ご意見	市の考え方
<p>子どもが4人います。のびのびと育てたいただそれだけが願いです。</p>	
<p>4人の子どもを育てながら、フルタイムで仕事をしています。親類のサポートはなく、夫と二人でや っていくには、今の子育て支援策では、仕事をやめざるをえない状況です。このままでは、みんな子 どもを産まなくなります。 そして、子育てに行き詰まり、虐待が増えてくでしょう。私も、毎日、子どもに怒鳴り、イライラが 止まりません。子どもは市の宝と言うなら、もっと子育ての支援をしてください。</p>	<p>市として、子育て支援課を中心に各種の子育て支援策に取り組んでおります。今後とも市民のニーズに そった施策を展開してまいりますので、ご意見、ご要望等もお伺いしてまいります。 また、子育てに関するご相談は子育て支援課に家庭児童相談員を配置し対応させていただいております ので、どうぞお気軽にご相談ください。</p>